

自治会組織が解散した高齢化が進む

UR 団地の活性化について

～古き良き時代を思い出して～

社会福祉法人 秀幸福社会（大阪府）

住所	〒567-0806 大阪府茨木市庄 2-7-35
TEL	072-631-5151
URL	http://care-net.biz/27/shouei
経営理念	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるよう創意工夫をすることにより、利用者が尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、またその有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。
事業内容 (箇条書き) 及び定員	認定こども園：4ヶ所（180名、90名、70名、20名） 介護老人福祉施設：1ヶ所（入所56名、ショートステイ20名） 通所介護：2ヶ所（35名、59名） 地域密着型通所介護：1ヶ所（15名） 居宅介護支援事業所：2ヶ所 訪問介護：2ヶ所 地域包括支援センター：3ヶ所 放課後等デイサービス：2ヶ所（15名、10名） 障害者相談支援センター：2ヶ所 就労継続支援B型：1ヶ所（20名） 多世代交流センター：1ヶ所（100名） いきいきネット（CSW配置）相談支援センター：1ヶ所
収入 (法人全体) 令和3年度決算	①社会福祉事業 1,629,416,634円 ②公益事業 0円 ③収益事業 0円
職員数 (法人全体)	319名（非常勤を含む）

自治会組織が解散した高齢化が進む UR団地の活性化について ～ 古き良き時代を思い出して ～

社会福祉法人 秀幸福社会
いきいきネット相談支援センターエルダー
CSW 神野 享士

今回の取り組みの目的や背景

現在、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)として担当しているUR総持寺団地。
高齢化率52%、世帯構成1.4人にあるこの団地の自治会組織が3年前に解散した。
これまで毎年あった夏祭りなどのイベントが全てなくなり、団地の住民同士の関わり合
いがさらに希薄になった。住民特に高齢者の孤立化、孤独化が最大の問題であり、今後
起こりうる様々な課題に備え、住民と関係機関が問題意識を共有して理解し、共同で取
り組んでいる。

結果的に住民主体において、団地の活性化を図ることを目的とする。

築50年以上の団地

『高齢化率52.5パーセント、エレベーターも無い』



全国的に問題となっている高齢化社会

ちなみに「独居高齢者」の人口推移は・・・

2015年の統計:625万3000人 25年後 ⇒ 896万3000人

なんと 43.4% 増 !!

*未婚率の上昇も増加の一因。

(2018年 日本賃貸住宅管理協会調査より)

このような状況にある団地を何とかしたい！

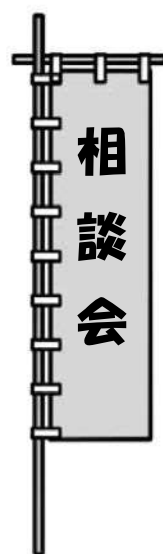
- ◆ 当該団地の元自治会長、地区担当の民生委員、福祉委員、市社協地区担当者と団地の現状、困りごとや不安要素などについて協議を重ねる。

こうして出てきた内容をもとに「何が出来るか」を皆でアイデアを出し合う。結果、まずは下記のことをやってみよう！となる。

- ①住民の声を聴く場の設定「よりそい相談会」の定期開催。
- ②情報発信紙「よりそいニュースレター」の発刊、全戸配布。
- ③「昔懐かしの写真展」の開催。

よりそい相談会

月2回(第2・4金曜日)に団地内集会所にて開催。
日常生活の困りごとや不安などを住民からお聞きして、
内容に応じてその場から行政の担当課に連絡し、相談者と
繋いで早期解決を図る。



情報発信紙「よりそいニュースレター」

団地に特化した話題や耳より情報、おうちで簡単にできる体操や料理などを掲載。原稿の一部を住民からも投稿していただき、自らも参画している意識を高めている。

総持寺団地 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

よりそい ニュースレター 第2号

なつかしい写真 探しています！
 総持寺団地、西切が映っている懐かしい写真をお待ちではありませんか？
 11月26日(金)と27日(土)に、総持寺団地集会所にて、お待ちいただいた写真を
 を展示して「総持寺団地 なつかしい写真展」を開催したいと考えています！
 届いた写真を見ながら、はっぴこりませんか？お持ちの方がいらしたら、写真展会場 村上(保健福祉センター)までお電話ください。
 072-621-3371
写真の届く日：個人宛にのみ、お電話ください。ご郵送の場合は、ご住所の〒とご氏名を記載してください。

おすすめ！リラックス法
 天気の良い日は外に出てあたり、
 水を音にたして読んでみませんか？
 リラックスできますよー！

私の一品
 小松菜とレンコンの炒め
 小松菜は長さ3cmほどに切る。
 レンコンは薄切(半月切)にし、塩で炒める。
 しんなりしたら油を落とし、
 炒めた小松菜を戻し入れて炒め合わせる。
 お好みで、ご家庭の様子どうぞ！

今年のお敬老の日は
 マスクを配りました。
 来所ご希望の方にお会いできること
 楽しみにしています。

民生委員・児童委員募集します！
 1～3区 11～13期にお住いの方
 大歓迎！詳しくは、7階210号室の
 漢野までお問い合わせください。

総持寺団地ささえあいミーティング アイデア大募集！
 「誰でも気軽に参加して、団地生活に役立つアイデアを募集します。みんなでつくる、お
 スローガン、楽しいイベントやゲームなどの企画も歓迎しています。『あつらいな』
 『なんでもしたいな』などにも参加してほしいです。アイデアを募集させていただきます。
 連絡先：総持寺団地集会所(センター) 072-621-3371
連絡先：総持寺団地集会所(センター) 072-621-3371

はつらつ教室参加者インタビュー

「はつらつ教室」に参加して、おうちで簡単にできる体操や料理などを掲載。原稿の一部を住民からも投稿していただき、自らも参画している意識を高めている。

はつらつ教室が紹介するワンポイントストレッチコーナー
 10月は「背中のストレッチ」と肩こりを予防しましょう

「階段を降りるときはぐらつきを防ぐ体操」

ポイント

- 階段を降りるときは、足裏をしっかりと踏みます。
- 腰を後ろに倒さず、背筋を伸ばして歩きます。
- 手すりや杖を上手に活用します。

昔懐かしの写真展

古き良き時代を思い出していただくとうと活気のあった時代(昭和40年代)の頃の写真を住民に呼びかけて集め、2日間にわたり写真展を開催。会場には、休憩・談笑の場としての喫茶スペースや多世代交流の場としての折り紙コーナーを設ける。



2日間で、140名の方にご来場いただきました！



昔懐かしの写真展 ～ 活気のあった時代を思い出す



懐かしの写真を前に
思い出話に花が咲きました！



子ども達も
興味津々！



数少ない子ども達も来場…。折り紙やマジックショーを楽しみました！これぞ多世代交流～！



写真を見ての
コメントをいただきました

民生委員から折り紙も
学びました



元自治会長による
マジックショー





今は無き、夏祭り・・・。

子ども達も多く、賑わっていました！



このポスターを団地内掲示板、郵便局等に掲示

カフェ よいそい
～ホッとできる身近な居場所を作りました～

令和4年5月13日(金)
13:30～16:00
総持寺団地集会所
内容：喫茶、血压測定

ワンコインで
飲み物・お菓子付
100

お気軽にお越しください

東地区福祉委員会
※新型コロナウイルス感染状況により、予定が変更になる場合があります。

写真展をきっかけに始まった集いの場 『カフェよりそい』



こういう場を待ってました～～ なんやかんやと話が飛び交います

今回の取り組みより、法人へのメリット

団地住民はもちろんのこと、民生委員や福祉委員、市社協の地区担当と共同で取り組むことにより、法人が運営する事業を広く住民に周知する場となった。

また、これまで以上に地域住民や民生委員等から介護保険の申請、介護サービス、その他の福祉サービスへの依頼が増えた。

今回の取り組みを振り返り、苦勞した事項、課題となった事項

地域住民、地域の福祉の担い手自身が高齢化しており、いかに地域課題に対して問題意識を共有し、理解して解決に向けた取り組みが協働で出来るかが一番心配な点であった。

当初は、「しんどいなあ…めんどくさいなあ…」の言葉の連発…。

ちなみに…今回、中心적으로ご協力いただいた元自治会長、民生委員、福祉委員の平均年齢は、72歳！

今回の取り組みを振り返り、苦勞した事項、課題となった事項

心がけたこと…

「私ども専門機関が出しゃばりすぎない」このことが一番。とにかく…

地域住民や福祉の担い手の方々に思いや提案を発言してもらいやすい場の設定することに注力。

我が事として捉えていただき、決してやらされている感を与えないことが重要。いかに継続性を維持できるかを皆で意見を出し合い考えた。

そして、出たアイデアを実践して振り返ることで、次への仕掛けが出来ている。

現在計画中の取り組み

コロナ禍の厳しい状況ではありますが、下記の内容を現在計画しています。

①夕涼み映画観賞会

9月上旬の夕方に集会所の壁面に昭和時代の映画を映写。模擬店も出店予定。

②12月初旬に餅つき大会

集会所前広場にて餅つき大会を開催。子ども達にも杵でついてもらい世代間交流を図る。

③買い物荷物お届け隊

団地内スーパーで買い物をされた団地住民で荷物が重たいと感じた方(金額や重量は問わず)の荷物を自宅までボランティアが届ける。(月2回程度を設定)

④ループバスの運行

公共交通機関までが遠いため月2回程度、最寄り駅や大型商業施設等へ市社協管理のシェアカーをボランティアグループで運行。

様々な取り組みから、人と人がつながり

顔の見える、顔見知りの関係が出来て

自然とお互いを気遣う気持ちも生まれ

自治会組織がなくても元気な団地になる。

むしろ、自治会が無いことで、自由で必要な

取り組みが出来る。

プラス思考で今後も住民、関係機関と

一致団結して取り組んでいきます。